

ホクレンディスタンスチャレンジ 2021

第4戦北見大会

【出場結果】

実施日 : 7月14日(水) 5000m

会場 : 北見市東陵公園陸上競技場

出場者 : 加藤 平 親崎 達朗 小林 航央

出場種目・出場者・リザルト

氏名	親崎	加藤	小林
種目	5000m	5000m	5000m
組	C組	C組	B組
タイム	14'37"80	14'21"61	15'11"02
順位	21/26	13/26	25/25

【レポート】

ホクレンディスタンスチャレンジ2021 第3戦網走大会に引き続き、第4戦北見大会に加藤、親崎、小林の3名が出場して参りました。

網走大会に続き、北見大会も異例の暑さに見舞われ、厳しいコンディションの中でのレースとなりました。C組に出場した加藤、親崎は、暑さの中で後半の粘りが記録を出す上でのポイントとなりましたが、序盤はしっかりと先頭集団の流れに身を任せてレースを進めました。



記録を狙って積極的な走りをする加藤、親崎

暑さの影響があったのか、親崎が2000m過ぎで離れだすと、加藤も3000m過ぎに先頭集団から離れだし、自己ベストの更新は難しい状況となりましたが、両名とも必死にペースをキープし、加藤は14分21秒台でのゴール、親崎は14分37秒台でのゴールとなりました。自己ベスト更新とはなりませんでしたが、暑さの中、集団から離されてもレースを最後まで諦めない攻めの姿勢は貫けたかと思えます。



暑さの中、中盤以降は我慢の走りとなった加藤と親崎

B組に出場した小林は、前回の網走大会で悔しい走りをしており、リベンジに燃えて出走しましたが、13分台の選手が勢揃いするレースで主導権を握れないまま、2000m手前で集団から離れだすと、最後まで走りのリズムを変えることが出来ずに15分11秒台のゴールとなりました。網走・北見大会共に悔しい走りとなりましたが、今回の悔しい思いを忘れずに秋シーズンに向けて取り組んで欲しいと思います。



本来の力を発揮出来ずに苦しい走りとなった小林

今回はコロナ禍にも拘らず会社の理解のもと、貴重な遠征の機会を頂き感謝申し上げます。

全国規模の大会を経験させて頂き、現場でないと味わえない緊張感や競争心を強く感じる事が出来ました。この経験を無駄にしない様、常に高いモチベーションを持って日々の練習への取り組みに精進させて頂きます。秋の駅伝シーズンでは、「新電元工業」チームとして戦える様、今回遠征に不参加の選手含め総力戦で戦って参りたいと思いますので、引き続き皆様の温かいご声援をお願い致します。